

1. 題材設定の理由

子どもたちは、前時の「6年生として」において、最高学年としての役割がわかり、新しい1年間への意欲をもつことができた。次はその意欲を具体的に動きにしていく段階である。ここでは、係活動の学習を通して、6年生としての決意を実現させようとする意欲をもたせる契機としたい。

まず、自分を振り返り、まわりの仲間の評価を通し、自分の良さに気づき、その良さを伸ばしていこうという意欲をもたせたい。その意欲を具現化するものとして係活動での目標を設定できるようにしていきたい。更にこうしたいという思いをもたせることによって、より自主的・自発的な活動につなげていく態度を育てたい。

2. 指導のねらい

自分を伸ばす係に挑戦しようとすることができ、係活動について、自分の役割に誇りと、学級をよりよくするために活動しようとする思いをもつことができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・自分の係活動について振り返り、6年生としての係活動のあり方を考える。
本時	・設置する係を整理する。 ・仲間の良さを見つけ、適切な役割を考える。 ・仲間の意見を参考に、自分の係活動への思いをもつ。 ・各自の思いをもとに話し合い、係を決定する。 ・決定した係活動について、願いをもつ。
事後	・係決定後の各自の日常の取り組み方について振り返り、意欲を継続させる。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
事前	・自分の係活動について振り返り、6年生としての係活動のあり方を考えられる。	◎5年生までの自分の係活動について振り返る。 ・努力できたこと 毎日続けられたことなど ・もっと工夫できると良かったこと こんなこともできたと思われることなど	・5-2の「係を決めよう」を参考にして、自分の取り組みを思い出させ、具体的に、がんばれたこと、やろうとしてできなかったことについて振り返らせる。中心は、がんばれたことにしたい。	ノート①
はじめの活動	・どのような係を設置するのか、整理することができる。	◎設置する係を整理する。 ・それぞれの係について、活動内容を確認するとともに、加える内容があれば加えていく。	・担任の思いとして設置したい係については、事前に知らせておく。 ・子どもたちの意見をまとめながら、設置する係を整理していく。	
課題：6年生としての決意をもとに、自分を伸ばす係に挑戦しよう。				
中心的な活動	・仲間からの評価を通して自分の良さを伸ばすことのできる係を見つけることができる。	◎仲間の良さを見つけ、適切な役割を考える。 ・日常生活から、仲間の良さを見つける。 ・交流することで、自分の良さや適正を知る。 ◎仲間の意見を参考に、自分のやりたい係活動とその理由を考える。 ◎各自の希望をもとに話し合い、係の担当を決定する。 ・各自が係の第1希望を出す。 ・希望が重なった係について話し合う。	・どの子どもにも長所が行き渡るように、班内で考えるなどの配慮をする。 ・理由の中に、係活動を通してどのように自分を伸ばしていこうと考えているかをはっきり書くよう指導する。 ・希望が重なった係について話し合うなどの方法をとりたい。 ・学級の実態に合わせて、決め方を配慮する。 ・第1希望で通らない場合が多く考えられるので、第2希望なども考えておかせようにして、どちらの場合の思いも準備できるとよい。	ノート② ノート③
まとめ	・自分の係に対して、努力したいこと、工夫したいことなどの願いを具体化することができる。	◎係の活動をイメージし、自分なりのめあてをもつ。 ・半年間の活動をイメージし、こんな活動ができたらいいなという願いをもつ。 ・発表することで、お互いの意欲を高める。	・願いに、活動の中でどのように自分を伸ばしていこうと考えるかはっきりさせる。	ノート④
事後	・その後の仲間の活動ぶりから、自分の取り組み方を再確認することができる。	◎仲間のがんばっている姿から、自分もがんばろうという意欲を高める。 ・メモなど用いて、または自分の言葉で係活動にかかわってがんばっていることを具体的に発表する。	・帰りの会などで少しずつ発表させることで、長期的な意識化をはかる。 ・発表の前には、事前に知らせ、活動の中での努力や工夫について語れるよう準備させる。	

《説話例》 「係活動の大切さ」

給食は学校の活動の中で、とても楽しい時間である。毎日当たり前のように食べていると気づかないが、この給食がみんなの前に並ぶまでにいろんな人の仕事がかかわっている。ご飯のお米は田んぼの水を毎日管理して世話してきた人のおかげ、牛乳は毎日牛の世話をしながら牛乳を搾ってくれる人のおかげ、おかずの魚や野菜、肉なども同じである。そして、それらの調理にも、運ぶにもたくさん

の人たちや仕事がかかわってくる。学校生活でのみんなの係活動も同じで、一人一人が自分の仕事をしていないと、困ることが出てきてしまう。そして、仕事には工夫が必要。どうすれば、みんなに喜んでもらえるか、どうすれば効率良く仕事ができるかなど。社会において、よりよい仕事をしている人は本当にいい顔をしている。